

味方小学校

300年の歴史ある名家！重要文化財「笹川邸」

1826年（文政9年）建築の旧大庄屋住宅で、大庄屋の格式がよく分かる役宅と、対症的に風雅な意匠の居室からなり、住宅からながめた庭園は美景。

元京都大学総長！すばらしい功績を残された味方のHERO「平澤興氏」

世界的な脳神経解剖学者として、人間に秘められた無限の可能性を説き続けた平澤興氏。今なお多くの人に生きる勇気と希望を与え続けている。



この広い部屋は、茶の間です。主人が過ごしていた部屋で、畳の数は24畳もあり、大風合戦の風と同じ大きさです。



越前小学校の皆さん、この壁は「まんじ餅模様」と言います。白い所を見ると「米」、青い所を見ると「まんじ」が崩れたように見えます。笹川邸のシンボルです。

ボランティアガイド

松永さんのお話

笹川邸は、かやぶき屋根や、釘かくしの技法を使って作られていることなどを、子どもたちが上手に説明できるので、びっくりしました。私たちの後を慰めてもらえると思うとうれしいです。



曾我・平澤記念館

滝澤館長さんのお話

現在、ガイドできるのは私しかいないのでとても助かります。平澤先生が勲一等瑞宝章を受章するほどのすばらしい方であることを、皆さんに伝えられるように工夫したいです。



平澤先生は、専門の解剖学に関わる本以外にも、医学の解説書や随筆なども多く書いたんだね。京都の病院の院長さんもしていたんだ。すごいなあ。



真宗大谷派西遊寺

朝倉さんのお話

平澤興先生が西遊寺で、伝記を好まれて読んでいた様子を味方小学校の子どもたちに、分かってもらえてよかったです。色々な人に伝えてくださいな。



「人間
無限の
可能性」

平澤
興

平澤興先生は、思い通りに勉強が進まず、人生をあきらめかけていたときに、1か月かけて「ただ一つの事をつらぬく」などのたくさんの名言を残しました。記念館には、たくさんの名言が展示されています。



1月の授業参観では、おうちの人や地域の人に、笹川邸の一番の見どころ、「幅33cmの大黒柱」が、かやぶき屋根を支えていることを分かりやすく説明できました。

笹川邸の良さを伝えるために、何度も笹川邸に行き、私たち自身が、笹川邸の良さと素晴らしさを実感しました。

笹川邸は、役宅と居宅に分かれています。役宅は、今でいうと市役所や警察の仕事をしていた場所です。建物の上の方には、屋根を支えるための、立派な「はり」と「けた」があります。



私は、平澤興先生の、「人生はつまり人間関係」という言葉を心にためて、味方の地域の人や、越前小学校のお友達との出会いを大切にしています。

曾我・平澤記念館は笹川邸のすぐ隣にあります。



平澤興先生にゆかりの西遊寺がある越前小学校の人とも交流しました。そして、笹川邸を案内しました。越前小の近くの歴史や文化についても教えてもらいました。



子どもの声



ボランティアガイドの方に教えてもらった「玄関にあるドラは、庄屋さんが入ってきたときに使うもので、インターフォンの役割をしている」ということを、自分なりの工夫を加えて説明しました。緊張したけれど、見学に来ていた人がうなずきながら聞いてくれたり、「ガイドがしょうずだね」と言ってくれたりして、とてもうれしかったです。もっともっと上手に説明できるようになりたいです。



笹川邸や平澤先生のことを伝えるために、いろいろな人にインタビューをしました。その活動を通して、新しい発見がたくさんありました。特に、平澤先生が残した人の生き方についてのたくさんの言葉、語についての世界的に有名な学者だったこと、さらに、ものすごく勉強熱心だったことです。味方の誇りであるこれらのことを、もっともっと多くの人に知ってほしいです。



平澤興先生が、高校生の夏休みに、聖書や論語という本をたくさん読んで過ごしたことを、越前浜にある西遊寺さんで聞きました。特に、ドイツ語やフランス語で書かれている本を読んでいることにびっくりしました。



西遊寺の近くにある越前小学校の友達に、ガイドをしたり、一緒にゲームをしたり、お互いの校歌を歌いあっていたりとても楽しかったです。越前小学校の良さを教えてもらったことで、改めて味方の地域の良さや味方小の良さが分かった気がしました。